

見樹院ニュース

O T E R A N E W S

第 7 1 号 2017 年 6 月 3 日 発行

浄土宗 見樹院
住職 大河内秀人

〒112-0002

東京都文京区小石川3-4-14

TEL 03 (3812) 3711

FAX 03 (3815) 7951

Eメール: kenjuin@nam-mind.jp

[Http://www.nam-mind.jp](http://www.nam-mind.jp)

施餓鬼会のご案内 見樹会総会のお知らせ

日時：6月25日(日)

- 11時～ 受付
- 11時45分～ 法話とご報告
- 12時半～ 施餓鬼会法要
- 午後1時半～ 見樹会総会・会食
- 午後2時半 終了予定

◆供養料：お塔婆料 1本 3000円
施餓鬼供養料(お布施)

※6月18日までに出席(人数)、塔婆供養のご連絡
を同封のがきでご返信下さい。

檀信徒が一堂に会し、無縁仏など、ふだん忘れられがちな仏さまも供養し、自分自身の餓鬼(むさぼり)の心をしずめ、長寿と健康を祈る法要です。

ご案内の通り、見樹院では毎月第一日曜日に、その月の命日の仏様のご供養をする「極楽誕生会」をお勤めしています。参列者みなさんで一人お一人を思い浮かべながら、お念仏をお唱えします。そこでいつも感じるのは、見樹院の縁によって出会った人たちが、願いをかけたご本尊の前で、いつまでも、極楽とこちら(娑婆)で願い願われる関係を持ち続けているという実感です。そしてこれを、未来にも伝え、続けていく責任です。

今、巷では、お墓なんて要らない、葬式もしなくていい、供養もけっこうという声をよく聞きます。そういう意見もよくわかります。しかし、忘れてはいけないのちの歴史と、思い出すことによって生き返るいのちを、皆で受けとめることで、温かい喜びを味わうことができます。お施餓鬼もそんな機会なのです。

見樹会費のお願い

一生以上のお付き合いになる人々との懇親を深めつつ、見樹院の活動をサポートする皆様の会です。檀信徒に限らず、見樹院から、いのちと未来を広げていこうという方のご参加を歓迎いたします。

会費のご納入は郵便振替をご利用いただくか、お施餓鬼の折に封筒に金額とお名前を明記してお渡し下さい。

■見樹会費は、1口 3,000円 となっておりますが、これまでの口数にこだわらなくて結構です。会の活動や、見樹院の支援に使用させていただき、見樹院(宗教法人)会計とは別に見樹会役員の方の管理の下、収支を報告させていただきます。

■郵便振替振替口座は、
00150-4-694808
口座名「見樹会」です。
同封の振替用紙をご利用ください。

おぼん だなぎょう お盆のお棚経について

東京では7月13日から15日がお盆期間と言われますが、7月上旬から始まりはじめます。地域によって、あるいは家によって、旧暦の8月にお盆をする方もおられます。新しい方やこれまでうかがっていなかった方もご希望がありましたらご連絡下さい。遠方の方もどうぞ遠慮なく。

新盆の方(新しい仏様のある家)でご親戚が集われる場合は、優先して日程調整・時間調整をさせていただきますのでお早めにご相談ください。飾り方なども、どうぞお気軽にお訊ね下さい。

甲状腺がん子ども支援から見えてきたこと 子どもに対する社会の暴力をなくすために

住職は、原発事故以来、放射線基準が20倍引き上げられて住み続けている福島の子どものいのちと健康を守る活動を続けています。すでに福島県の県民健康調査によって、184人の子どもたちが、甲状腺がんと診断されています。告知された子どもと家族は孤立し、診察や通院費用などで経済的に困窮しがちです。進学、就職、結婚、出産などで壁にぶつかる子もいれば、再発や転移により、一生、治療と向き合うようなケースも出ています。

そこで住職も呼びかけ人の一人となり、昨年、「3・11 甲状腺がん子ども基金」が設立され、総代・世話人役員の総意として、見樹院も賛助会員として支援することになりました。

この支援活動を始めたところ、東京を含む福島以外の関東地域でも患者が発生していることがわかりました。小児の甲状腺がんは、これまで100万人に一人の割合と言われてきました。それが福島県の検査対象の子ども38万人の内184人というのはとんでもない数字



です。さらに、山本太郎参議院議員の復興特別委員会での質問に対する厚生労働省の答弁により、甲状腺摘出手術を受けながら、その184人に含まれない人もかなりの数いるということが判明しました。

このような重大事態、そして恣意的な過小評価のからくりの実態がほとんど報道されないことから、患者や家族の、健康被害以外の苦しみも見えてきます。つまり、復興と安全をアピールし、産業や資産価値の下落を恐れる行政や経済界にとって、患者は不都合な存在として厄介者扱いされます。なので、国や県が隠そうとするだけではなく、本人たちも親戚や友人にさえ言えないケースが多いのです。だから、184人という数字は発表されても、その一人一人の状況はなかなか見えませんでした。支援活動を始めたことで、やっと私たちも知ることができたのです。この苦しみの構図は、性犯罪の被害者とも共通するものがあります。

これはまさに社会による構造的な暴力として、5月にパナマで開催された「子どものための世界宗教者フォーラム」において、「子どもへの暴力をなくすための宗教者の取組み」のパネルトークで発表しました。

ぜひ見樹院関係者の皆さんにもこのことを知っていただき、患者さんやご家族、不安に苦しめられる人々の気持ちを分かち合い、3・11後の子どもの甲状腺がん増加の現実に対する正しい認識を広く社会に求めつつ、共に希望ある未来を紡ぎ出していきたいと思えます。

見樹院「いのちと未来のシアター」上映会ご案内

地球(ガイア)の声が、きこえますか

地球交響曲 ガイアシンフォニー 第七番

～全ての生命が潔く、健やかに生き続けるために～

- 6月9日(金) ①13:00～ ②19:00～
- 6月10日(土) ①12:00～ ②16:30～

『地球交響曲 ガイアシンフォニー』は、「地球はそれ自体がひとつの生命体である」という〈ガイア理論〉のもと、美しい映像と音楽、珠玉のこぼの数々によって織り成されるドキュメンタリー映画です。1992年公開の「第一番」から、2015年公開の最新作の「第八番」までの観客は実に240万人を数え、今なお全国各地で自主上映され続けており、見樹院でも「食といのちを考える会」との共催で、これまで6作を上映してきました。

「第七番」では「GAIAの自然治癒力」の健やかな発現を願って、GAIA本来の「心」とはなにか、その「心」に寄り添うために、私達人類は今、なにに気付き、なにを捨て、なにを取り戻すべきか、を問いたいと思えます。

地球交響曲第八番(現在の最新作)上映会予告
9月8日(金)・9日(土) @見樹院

◇見樹院講談会 予告◇

11月19日(日)午前11時

出演: 神田京子さん 神田松之丞さん

お楽しみに

最新情報は見樹院 Facebook ページで